

2013年度 兵庫県トライアスロン協会 第2回理事会議事録

○ 開催日：2013年10月6日（日） 14:00～16:30

○ 開催場所：イーグル姫路 第1会議室

○ 出席者：

的場副会長、渡邊理事長、水野副理事長、山本事務局長、酒井常任理事、
河合常任理事、田中理事、木倉理事、増本理事、石飛理事、松尾理事、
オブザーバー：揖場裕（チームしらさぎ）

議事録作成：山本事務局長

〔1〕議事

（1）開会宣言・定足数の報告：山本事務局長

・理事総数 会長以下 33名

出席者 11名

委任状 16名

・定足数(理事総数の2分の1以上)を満たし、理事会は成立。

（2）会長挨拶：末松会長（渡邊理事長代読）、的場副会長

（3）議長選出：定款に従い、渡邊理事長が議長に選出された。

（4）報告事項

● 会員状況：山本事務局長

・登録数（2013/10/5 20:00現在）

合計 761

新規 338、継続 423

男性 644 女性 117

小学生 11、中学生 5、高校生 0、一般 745

・報告資料にて説明。

・2012年度 664名

（一般 633、ジュニア 31【高校生 3、中学生 8、小学生 20】）

・11月から新年度の登録が開始されるので、今年度としては、この数字がほぼ登録数。昨年比15%の増加。

ただし、ジュニアの登録が65%減。トライアスロンは、2016年の国体で正式種目化され、少年の部が開催される予定。ジュニア特に中学生の強化が、懸案事項である。

● 事業報告：水野副理事長

・報告資料により説明

・トライアスロン教室 in グリーンピア三木（6/9）関連

参加者数；55名（視覚障害者 男女各1名、右手切断/義手 男子1名参加）

毎年増加の傾向。指導者の有資格者13名で対応。

・2013年東京国体兵庫県代表選考会

今年度は、第1次選考予選会を認定記録会で行い、最終選考会はGP三木大会の競技コースを使用し、HTA独自開催した。

最終予選会には、第1次選考会通過選手；男子5名、女子3名が参加し、男子は、澤瀉大樹選手、女子は中島聖子に決定。スタッフ7名で実施した。

- ・第68回国民体育大会；10/5、東京都三宅島で開催
悪天候のため、スタート時間を午後にはずらし、距離もスプリントで開催。
監督：八尾彰一国体委員長
成年男子：澤瀉大樹 13位（2012年 25位）
成年女子：中島聖子 13位（2012年 12位）
- ・第2回 明石・時感動アクアスロン大会（7/15）関連
参加選手数；273名（リレー20チーム40名を含む）、出走者数；256名、完走者数；253名（リレー18チーム36名を含む）
参加人数が、昨年より、若干減少。来年の開催は、今後の審議による。
- ・第4回潮芦屋アクアスロン大会・第1回兵庫県アクアスロン選手権（9/8）関連
参加選手数；296名（リレー10チーム20名を含む）、出走者数；254名、完走者数；250名（リレー20名を含む）
どの大会も同じ傾向だが、リレーの部の参加者が減っている。
- ・第3回グリーンパークトライアスロン in 加西（9/29）関連
<個人の部>参加選手数；170名、出走者数；146名、完走者数；138名
<リレーの部>参加選手数；8チーム23名、出走者数；8チーム23名、完走者数；6チーム18名
昨年は、暴風雨警報で中止となったが、今年は、晴天に恵まれ、地元スタッフの協力もあり、無事に開催できた。
- ・他府県などその他の大会協力は、5大会。
- ・個々の大会の性格等もあるが、質問・意見等があれば願います。（渡邊理事長）
それぞれの大会の反省点や改善提案も含め、各種意見が出された。
- 技術審判関連報告：水野技術・審判委員長
 - ・JTU 審判制度の改定案が提出されており、本内容でほぼ承認されると思われる。
 - ・更新期間は全て4年から2年になり、第2種審判員資格も加盟団体が認定する。
 - ・資格は取りやすくなっているが、審判技能をどう教え伝えていくかが課題。
講習だけより、大会にスタッフ参加（審判実習）して資格を取得するGP三木方式が実効性があると考えている。
- ジュニア拠点の確立について：山本事務局長
 - ・石角技術力向上課長とメールおよび架電にて、面談の了承を頂き、現在、日程調整中。八尾国対委員長と具体的に進める。
 - ・数年前に制作されたトライアスロンのビデオは、スイムの中体連競技会に出席した

先生に配付した。

- 25周年記念オフィシャルポロシャツの領布について：渡邊理事長
 - ・ホームページに掲載して、領布中。残り50枚。Sサイズは、残り1枚。Mサイズは、残り少なく、Lサイズの在庫があります。
- ワールドマスターズゲームズ 2021年兵庫県誘致について：渡邊理事長
 - ・県教育委員会から内示あり。関西広域連合協議会（井戸知事がまとめ役）の主催。30歳以上が参加できるマスターズのオリンピックと言われる。14の競技の中で、トリスロンは中核競技の1つ。2021年が4回目で、欧米ではポピュラー。
 - ・神戸周辺、関空の泉南が会場候補になっている。
 - ・東京オリンピックの1年後になるので今後、県教委からのヒアリングを中心に検討。参加選手はオリンピックより多く、市民が参加するオリンピックだが、現役を引退したアスリートも参加する。是非、神戸で開催したいと誘致活動が開始される。
- JTUパラリンピック関連事項：渡邊理事長
 - ・富川JTUパラリンピック対策プロジェクトリーダーより、JTUパラトリアスロン強化拠点（神奈川）の申請があり、報告が行われた。
 - ・兵庫としては、大西氏にHTAの活動に参加頂き、活動できるようにしたい。今後もサポートしていければと思うので、共通認識を持っていけるようにしたい。
 - ・パラのカテゴリーの中で、今のところ視覚障害のみに対応している。
 - ・他の大会では、拒否されることが多い。これからも練習の場を提供していきたい。大会の情報があれば、共有頂きたい。
ガイドができる人が少ない。同性でないと伴走できないので、女性でガイドに興味がある人が居られればと思う。（石飛パラトリアスロン担当理事）

(5) 審議事項

- 第1号議案 2014年以降 大会競技運営について：水野副理事長
 - ・2013年度 6大会が計画（5大会は実施済）されたが、水野副理事長が全大会の技術代表を担当、仲宗根常任理事が同じく、全大会の審判長を務めた。
他のメンバーの協力を得て、負荷を分散したい。
 - ・主な業務：①スタッフの募集とスタッフ配置、要項の作成と印刷配布（ただし、GP三木大会とカーフマンは、がその任を斉藤商店が請け負っている）
②各大会の実行委員会等、各種会議出席
 - ・スタッフ集めとスタッフ要項の作成と発送には期日があり、限られた時間での対応が必要、労力がかかる。スタッフ要項の配布は、地図の電子化により、コピーの郵送ではなくメールを使用することで、印刷の負荷が減り、期日が稼げる。
 - ・会議は、大半は平日夜の開催だが、加西大会実行委員会など会議が平日・昼間に開催されるものもあり、現役をリタイアされた方又は自由が利く方の協力が必要。
 - ・ローカル大会であれば、3種の審判員資格者も審判長を担当できる。

➤ 結論

- ① GP 三木大会：技術代表に仲宗根常任理事を任命
 - ② カーフマン：技術代表に仲宗根常任理事を任命
 - ③ 丹波市ファインキッズ：大原常任理事の担当。丹波市協会に対応。新体制に期待する。
 - ④ 加西、潮芦屋：継続検討
 - ⑤ 明石：水野副理事長の後任について継続検討
 - ⑥ 仲宗根常任理事を技術代表に任命した大会の審判長は、大会ごとに他の審判員に落としてゆく。
 - ⑦ 女子委員は、審判員資格を取得できるように講習会をアレンジする。
- 第2号議案 規約改正（総数定足数の変更）について：渡邊理事長
 - ・総会は1/3以上の出席があれば、成立する。
 - ・従来の会員数は、200～400名程度だったが、昨年より、会員数は、600～700名に増加。新規の割合が増えてきている。700名の会員に1/3をそのまま適用するのは、実質的ではない。
コナミ関係の登録者の割合はわからないが、本当にHTAの活動を議論する会員として、1/4に改定したい。
 - ・往復はがきも大半は返送されず、通信費が無駄になっている点もあり、FAXでの返送など対策できないか。

➤ 結論

- ① 比率を変更しても適当な数字かどうかはわからない。広く意見を受け入れるように門戸を開いていくことは必要だが、総会自体は廃止することはできないかという提案が出された。これに対し、総会を廃止することが認められるかどうかを、渡邊理事長が顧問弁護士に相談することになった。
- ② 総数定足数の変更は、総会での議決事項なので、次回の総会は、従来通りとする。

(6) その他

- ・2014年 JTU 認定記録会 近畿ブロック兵庫会場開催日決定
日時；2014年3月9日（日）
スイム；尼崎市立尼崎高校 屋内プール
ラン；尼崎市立記念公園陸上競技場
- ・選手に早く情報を流せるようHPにてアナウンスする。

(7) 閉会の挨拶：渡邊理事長

[2] 次回（2013年度第3回理事会）開催予定

- ・開催日時 未定（3月下旬）
- ・開催場所 未定（神戸市内）

以上